

第 42 回全国在日外国人教育研究集会・徳島大会にご参加を！

多文化共生社会実現のための教育を創造しよう

第42回全国在日外国人教育研究集会（徳島大会）

第四二回全国在日外国人教育研究集会は、初めて徳島の地で開催いたします。昨今、日本社会における在日外国人を取り巻く状況は、ますます厳しい状況にあります。そして、その厳しさは子どもたちを取り巻く状況も同じで、学校や園・所においてさまざまな課題が浮き彫りになっています。

昨年、文科省は三つの数字を発表しました。「外国人の子供の就学状況等調査」では、全国で一万人を超える子どもたちが学校に行けていないという実態が明らかになりました。「日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査」の結果、高等学校等の進学率は八九・九%でした。これは全中学生等の進学率が九九・二%であるのに対して一〇パーセントも低い数字です。さらに、中退率については、日本語指導が必要な高校生では五倍を超えています。

また、差別落書き、ネット空間の誹謗中傷は放置されているといってもよい世相のなか、自らのルーツを肯定できない生徒、どこにも助けを求められない生徒たちがいます。二〇一六年に制定されたヘイトスピーチ解消法にかかわる教育や、二〇二三年四月からはじまる高校での日本語の特別の教育課程など、山積する課題の解決に向けた、反差別・人権を基盤とした多文化共生教育の創造ととりくみが必要です。今大会に全国から実践を持ち寄り、交流しましょう。ぜひ、なかまの皆さんとともに徳島大会にご参加ください。<徳島からのメッセージ>

二〇二一年の全外教セミナー・徳島集会の開催や、全国交流会へ高校生・教員が参加したことは、私たちには貴重な出会いと学びになりました。残念ながら、その後の組織的なとりくみにつながったとは言いがたいものの、参加した生徒たちがまいてくれた種は現在、「中・高生による人権交流集会」で、生徒たちが自主的に決定するテーマに、在日外国人を取り巻く課題が定期的に取り上げられることに結実しています。

また、二〇二二年に開校した、全国初の県立夜間中学校「しらぎぎ中学校」では、日本語指導を受けることができるベーシックコースが設置され、幅広い年代層の外国人にルーツを持つ生徒さんが学んでいます。

徳島は少しずつですが、歩を進めてきました。しかしながら、外国にルーツを持つ生徒が増えていくにもかかわらず、課題はまだまだ見えづらい状況にあります。それを大きく変えていくとくみへの充実が、今、教育現場・行政に求められています。

今大会で全国から集まる方々の実践に学び、交流することにより得られる新たな気づきを、課題解決に向けた新たなとくみへの端緒としたいと考えています。

皆様のご参加を、徳島の地でお待ちしております。



□日程・内容 << 2023 年 >>

全国在日外国人生徒交流会

8月5日(土)～6日(日)

徳島市青少年交流プラザ(調整中)

(徳島市論田町中開 47)

開会行事・全体会

8月6日(日)

四国大学(調整中)

(徳島市応神町古川戎子野

123-1) JR 徳島駅から路

線バス約 15 分 「四国大

学前」下車すぐ

分科会・閉会行事

8月7日(月)

四国大学(調整中)

□参加資料代

3,000 円

□参加申し込み

当日会場にて

詳しくは開催要項をごらん下

さい。後日、全外教のサイト

に掲載します。

<http://www.zengaikyo.org>

主催：全国在日外国人教育研究協議会

後援：徳島県・徳島県教育委員会・徳島市・徳島市教育委員会 他（以上、申請予定）・徳島県人権教育研究協議会（申請中）

連絡先：奈良市大安寺 1-23-1 県人権センター内 多文化共生フォーラム奈良 e-mail: mail@zengaikyo.org